

平成23年度第6回経営協議会議事要録

日時 平成23年12月13日(火) 10時
場所 KKRホテル名古屋 福寿の間
出席 学内委員5名 欠席なし
学外委員6名 欠席なし

会議成立

開会 10時

議事に先立ち、学長からあいさつの後、総務課長から、本日の配付資料の確認及び会議日程の説明があった。

次いで、学長から第5回本協議会(11月17日-30日書面会議)開催以後の主要な取り組みと今後の課題として、①2012年度予算関係について国家公務員給与削減特例法案の動向と運営費交付金の削減幅並びに国大協、本学の対応状況、②平成22年度剰余金に係る目的積立金の現在の状況、③中教審教員の資質能力向上特別部会WGにおける教員養成政策の動向、④学内の状況として、博士課程開設準備状況、市川房枝没後30周年記念企画展、本学近隣の市教育委員会との覚書締結状況、教育学部改革の状況、海外協定校からの招聘計画などについて報告があった。

これに対して、委員から、教員の修士レベル化のメリット、国家公務員の給与削減と国立大学法人給与削減との関係などについて意見交換があった。

議 題

1. 平成23年度第5回経営協議会議事要録の承認について

学長から提議され、質疑応答の後、これを承認した。

○委員からの質疑等 ●大学側の回答

- サテライト教室設置を再考願いたい。
- サテライト維持にコストがかかるのが問題。長期的な展望から考慮したいので専門学校など5時以降空いている場所があることなどを踏まえ検討したい。
- 弁護士会では、サテライトを飛び越えて個別のパソコンで研修を行っており、サテライトの意味が無くなってきている。
- 本学でもeラーニング形式の授業やテレビ会議などを利用して他大学との会議を行っている。こういうツールもうまく使っていきたい。
- 教育に関する授業においては教師と学生との対面方式の授業が必要ではないかと思う。

2. 中期計画の変更について

学長から提議され、中期計画の変更については必要最低限の変更のみが認められていることの説明があった後、後期3年博士課程設置に伴う中期計画の変更について資料に基づき説明があり、原案どおりこれを承認した。

3. 2011年度予算の補正(案)について

学長から提議され、白石委員から資料に基づき、①8月に起きた科室火災に係る損害保険金の収入があったこと、②前年度立替分の退職手当分について物件費として支出可能とするための予算項目変更が必要であること、③施設整備費補助金交付に伴う収入があったことの説明があり、2011年度予算の補正案を承認した。

4. 新女子寮(F棟)に係る寄宿料等について

学長から提議され、都築委員から、新女子寮（F棟）の寄宿料等について既存の学生寮の寄宿料等が1,400円（2人部屋を1人で使用の場合）であること、寮生との協議によりF棟の寄宿料等について80%が賛成していること、インターネット個人負担分については85%が賛成していること等の説明があった後、資料に基づきF棟の寄宿料等の提案があり、質疑応答の後、これを承認した。

- 15,000円は月額か。
- そのとおりである。
- 近隣の下宿費と比較した上での金額設定か。
- F棟と同等のタイプは月額45,000円～50,000円であり、3分の1程度に抑えている。これは、留学生も居住する混住型としているためである。
- 他大学との比較はされたか。
- 他大学は、10,000円～20,000円である。
- 募集定員を超えた場合の優先順位はあるのか。
- 入寮面接については学生支援課が対応しているが、所得の低い方から優先している。
- 賛成されていない残りの15%～20%の学生の意見はなにか。
- 態度を保留ということであり反対ではない。バス・トイレを共有から個室にしたことで議論になった。
- ユニットバスになるということで、共同風呂などがある現在の学生寮に比べ学生の集合場所にならなくなる。現在の学生寮には自由に入室できるか。
- ICカードでチェックしており、現在も寮生以外は入れない状況。

5. 消費税の予納について

学長から提議され、白石委員から第4回本会議で報告のあった国税局による税務調査結果に伴う消費税の修正申告について、本学としては個別対応方式で行うことを国税局に示し、現在協議中であることの説明があった。

次いで、資料に基づき、一括比例配分方式とした場合の国税局による積算額、個別対応方式とした場合の本学による積算額の説明の後、税理士と相談した結果、国税局と本学の意見に相違が生じる場合を想定して予納額算定の基礎額をそれぞれの折衷額とすることが適当との助言があったこと、予納することにより延滞税を最小限にとどめたいことなどの理由から、1,000万円を予納したい旨提案があり、質疑応答の後、これを承認した。

- 折衷案とした理由はなにか。
- 税理士のこれまでの経験則である。
- 予納はすぐやることに賛成である。どこで決着をつけるかは別の話であり、きちんと対処して行ってほしい。

報 告

1. 2011年度資金管理及び運用について

白石委員から、資料に基づき、国債等による本年度の資金運用について報告があり、これを了承した。

2. 平成23年度国立大学法人施設整備費補助金（大学教育研究特別整備費）について

白石理事から、資料に基づき、ネットワーク機能強化のための施設整備費が交付決定された旨報告があり、これを了承した。

3. その他

(1) 次回開催日について

学長から、次のとおり報告があり、また、3月には顧問を含めた合同会議を行いたい旨述べられた。

第7回

日 時 平成24年1月24日（火）10時
場 所 名鉄グランドホテル 柏の間

第8回

日 時 平成24年2月14日（火）10時
場 所 KKRホテル名古屋 福寿の間

(2) その他

片桐委員から、多文化共生の観点から、愛知県教育委員会との連携事業で、県内の外国人児童に対する日本語教育などの教材開発で愛知教育大学の教員がボランティアで取り組んでいることに対して謝辞があった。

閉会 11時19分